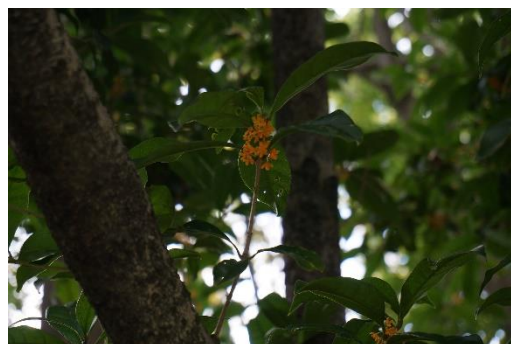


薬草園かわらばん

皆さんちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年
10月15日
第27号



クミスクチン（シソ科）

一時、新芽の葉を乾燥したものを「ジャバ茶」の名でダイエット効果をうたい文句に話題になりました。多年草ですが耐寒性に乏しいので、日本では一年草として扱われる事もあります。植物名（標準和名）は「クミスクチン」ですが、咲いたその姿から別名で「ネコノヒゲ」とも呼ばれています。ヨーロッパや東南アジアでは、葉を消炎、利尿の目的で使用されていました。ちなみに「クミスクチン」とはマレー語だそうです。

キンモクセイ（モクセイ科）

今、園内を歩いていると懐かしい秋の香りが漂ってきます。正体は橙黄色のキンモクセイの花です。中国原産で雌雄異株、日本には雄株だけがあり、結実せず、挿し木で増やします。金木犀（キンモクセイ）の名は、木の肌が動物のサイに似て、花が金色に見えることから。鎮静、健胃を目的に、花を民間薬として使用しますが、中国での名称、「桂花」の通り、桂花陳酒の香りとして使用されています。



今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

薬草園ボランティアグループ